

問 子育て世代包括支援センター設置は

答 来年度早い時期に設置予定



田中麻乃議員

【妊娠・出産・子育て支援事業の充実化について】

問 核家族が増える中、地域全体で子育てを支援する姿勢が大事であり、今までの妊娠から子育ての切れ目ない支援事業をさらに充実させることが望ましいと考える。今後考えている支援事業の内容や予算の組み立ては。

答 今後行う事業としては、子育て世代包括支援センターの開設が次のステップであると考えている。予算の組み立てについては、センターは複数の機能を集結した姿になると思うので、健康福祉課、子育て支援課、保育園事業とそれぞれに予算計上をしている。

問 大町市における産後ケア事業、育児支援ヘルパー派遣事業、母乳相談等助成事業が好評であり白馬で実施されていないので取り入れてはどうか。

答 産前産後サポート事業を含め現存のサービスがまだ不十分ではある。大町市の母子保健推進員に助言や指導を受けながら今後サービスの充実を図っていききたい。

問 センターの設置に向けての具体的な動きは。

答 子育て支援課としては健康福祉課と連携しながらと実務者レベルの協議を進め、来年度の早い時期の開設を目指している。センターには利用者支援専門員配置が望ましいとされているので職員2名をこの秋に専門研修に参加させ資格取得させる予定。

問 センター設置にあたり他の自治体との連携はどのように進んでいるのか。

答 白馬村子育て支援連携

マップを内部で作成し、大北及び県内の事業者と連携している。現在は担当が必要な時に連携しているが、センターができればコーディネーター役を介して一元化できると考えている。

問 村男Ⅲ世の村民活用推進について

答 地域に愛されるよう柔軟に対応

【白馬村キャラクターヴィクトワール・シヴヴァルブラン・村男Ⅲ世取り扱いについて】

問 村民が村男をイベントで使用する際に明確でない制約があり使いづらいつの声がある。使いやすいように柔軟に対応をお願いしたいが担当課としていかがか。

答 白馬村キャラクターデザイン使用に関する要綱に則り観光課が管理している。村男は地元で愛される存在であることが必須である柔軟に対応し

ていく。

問 村男バーガーの今後の展開は。

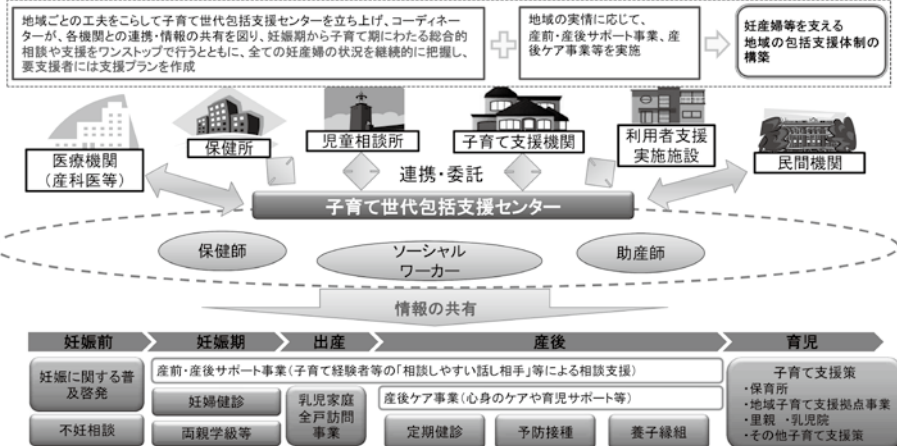
答 村男バーガーがだんだん売れなくなってきた理由として、味や販売価格、販売場所など様々な課題がある。現在関係者を交えて意見交換している。

問 販売は振興公社、バーガー在庫管理は民間企業という売れる側が改良もできない組織構造について今後どう考えているか。

答 検討の中で今までと違つた形での販売を考えていかなければならないと考えている。

子育て世代包括支援センターの法定化・全国展開

- 現状様々な機関が個々に行っている妊娠期から子育て期にわたるまでの支援について、ワンストップ拠点(子育て世代包括支援センター)を立ち上げ、切れ目のない支援を実施。
- ワンストップ拠点には、保健師、ソーシャルワーカー等を配置してきめ細やかな支援を行うことにより、地域における子育て世帯の「安心感」を醸成する。
- 子育て世代包括支援センターを法定化し、おおむね平成32年度末までに全国展開を目指す。



子育て世代包括支援センターイメージ図：厚生労働省 HP より